

銀行等による保険募集に関するモニタリング結果

1. 銀行窓販による販売実績

— 計数は保険会社に対するアンケートの集計結果による —

- 生命保険商品については、新規契約件数・保険金額ともに増加傾向。
生保全チャンネルに占める銀行窓販の販売シェア(平成22年度)は、件数7.0%、保険金額8.6%。

<生命保険商品>

チャンネル	新規契約件数(万件)					新規契約保険金額(億円)				
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
①全チャンネル	1,225	1,254	1,524	1,686	1,682	773,318	688,415	676,931	677,587	698,868
②銀行窓販	76	62	80	103	118	46,673	39,112	40,762	50,758	60,070
①に占める割合	6.2%	4.9%	5.2%	6.1%	7.0%	6.0%	5.7%	6.0%	7.5%	8.6%
全面解禁後商品	-	1	12	22	33	-	59	1,735	4,836	10,891
②に占める割合	-	0.8%	14.8%	21.8%	27.9%	-	0.2%	4.3%	9.5%	18.1%

(注)個人保険・個人年金商品に限る。また、転換を含む。

- 損害保険商品については、新規契約件数は増加傾向、保険料は概ね横ばい。
損保全チャンネルに占める銀行窓販の販売シェア(平成22年度)は、件数0.3%、保険料0.5%。

<損害保険商品>

チャンネル	新規契約件数(万件)					新規契約保険料(億円)				
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
①全チャンネル	14,581	14,749	14,500	14,263	14,213	86,796	87,693	84,775	83,639	79,393
②銀行窓販	31	29	32	37	45	436	349	502	404	377
①に占める割合	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.5%	0.4%	0.6%	0.5%	0.5%
全面解禁後商品	-	0	5	13	21	-	10	45	61	84
②に占める割合	-	1.4%	15.8%	34.2%	47.1%	-	2.9%	9.0%	15.1%	22.2%

- 生命保険商品について年金商品の販売が多いが、直近では死亡保険(終身保険等)が増加。

<生命保険商品(種目別)>

種目	チャネル	新規契約件数(万件)					新規契約保険金額(億円)				
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
死亡保険 (終身保険等)	全チャネル	469	468	553	628	680	447,936	391,307	416,806	465,680	505,319
	銀行窓販	2	2	6	23	55	2,277	2,431	5,263	15,248	35,790
	全チャネルに占める割合	0.5%	0.4%	1.1%	3.7%	8.0%	0.5%	0.6%	1.3%	3.3%	7.1%
	銀行窓販全商品に占める割合	3.2%	3.3%	7.6%	22.4%	46.4%	4.9%	6.2%	12.9%	30.0%	59.6%
生死混合保険 (養老保険等)	全チャネル	150	203	285	274	271	148,289	142,833	115,194	58,566	47,812
	銀行窓販	0	0	0	3	8	10	4	114	857	1,761
	全チャネルに占める割合	0.0%	0.0%	0.1%	1.1%	3.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.5%	3.7%
	銀行窓販全商品に占める割合	0.0%	0.0%	0.2%	2.9%	7.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.7%	2.9%
定額年金保険	全チャネル	89	92	107	120	130	47,803	45,800	49,390	58,073	61,271
	銀行窓販	20	13	20	27	31	10,478	7,391	10,771	13,738	15,242
	全チャネルに占める割合	22.3%	14.2%	19.0%	22.4%	23.9%	21.9%	16.1%	21.8%	23.7%	24.9%
	銀行窓販全商品に占める割合	26.0%	21.1%	25.5%	26.1%	26.4%	22.5%	18.9%	26.4%	27.1%	25.4%
変額年金保険	全チャネル	69	59	52	42	14	41,355	36,607	30,038	24,149	7,672
	銀行窓販	54	46	43	37	12	33,907	29,274	24,392	20,443	6,764
	全チャネルに占める割合	78.6%	78.3%	83.1%	86.2%	88.4%	82.0%	80.0%	81.2%	84.7%	88.2%
	銀行窓販全商品に占める割合	70.7%	74.7%	54.1%	35.5%	10.4%	72.6%	74.8%	59.8%	40.3%	11.3%
医療保険等	全チャネル	449	432	527	622	587	87,935	71,867	65,502	71,118	76,795
	銀行窓販	0	1	10	13	12	0	13	222	471	513
	全チャネルに占める割合	0.0%	0.1%	1.9%	2.2%	2.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.7%	0.7%
	銀行窓販全商品に占める割合	0.0%	0.8%	12.6%	13.1%	9.8%	0.0%	0.0%	0.5%	0.9%	0.9%
全商品合計	全チャネル	1,225	1,254	1,524	1,686	1,682	773,318	688,415	676,931	677,587	698,868
	銀行窓販	76	62	80	103	118	46,673	39,112	40,762	50,758	60,070
	全チャネルに占める割合	6.2%	4.9%	5.2%	6.1%	7.0%	6.0%	5.7%	6.0%	7.5%	8.6%

(注) 個人保険・個人年金商品に限る。また、転換を含む。

<損害保険商品(種目別)>

種目	チャネル	新規契約件数(万件)					新規契約保険料(億円)				
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
火災保険	全チャネル	1,629	1,573	1,609	1,588	1,549	14,075	13,679	13,794	13,926	13,281
	銀行窓販	22	19	18	16	15	369	290	264	224	205
	全チャネルに占める割合	1.3%	1.2%	1.1%	1.0%	1.0%	2.6%	2.1%	1.9%	1.6%	1.5%
	銀行窓販全商品に占める割合	71.1%	65.0%	54.4%	43.0%	34.0%	84.8%	83.1%	52.5%	55.5%	54.5%
海上保険	全チャネル	139	135	119	111	113	1,573	1,671	1,561	1,280	1,345
	銀行窓販	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全チャネルに占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	銀行窓販全商品に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運送保険	全チャネル	734	717	814	569	504	1,281	1,327	1,241	1,032	1,066
	銀行窓販	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全チャネルに占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	銀行窓販全商品に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車保険	全チャネル	6,064	6,046	6,047	6,049	6,042	36,513	36,176	35,795	35,513	35,726
	銀行窓販	0	0	0	1	1	0	0	2	4	6
	全チャネルに占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	銀行窓販全商品に占める割合	0.0%	0.1%	1.1%	2.5%	3.1%	0.0%	0.1%	0.4%	1.0%	1.6%
傷害保険	全チャネル	1,612	1,549	1,473	1,466	1,558	11,611	10,957	10,584	9,583	9,938
	銀行窓販	7	8	11	16	24	65	56	228	159	148
	全チャネルに占める割合	0.5%	0.5%	0.7%	1.1%	1.5%	0.6%	0.5%	2.1%	1.7%	1.5%
	銀行窓販全商品に占める割合	23.8%	26.8%	34.2%	44.6%	53.5%	14.9%	16.1%	45.3%	39.2%	39.2%
新種保険	全チャネル	644	621	669	701	698	10,879	13,118	13,761	14,175	9,910
	銀行窓販	2	2	3	4	4	1	3	9	17	18
	全チャネルに占める割合	0.2%	0.4%	0.5%	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%
	銀行窓販全商品に占める割合	5.2%	8.1%	10.3%	9.8%	9.3%	0.3%	0.7%	1.8%	4.3%	4.7%
自賠責保険	全チャネル	3,759	4,109	3,768	3,780	3,748	10,864	10,764	8,038	8,129	8,128
	銀行窓販	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全チャネルに占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	銀行窓販全商品に占める割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全商品合計	全チャネル	14,581	14,749	14,500	14,263	14,213	86,796	87,693	84,775	83,639	79,393
	銀行窓販	31	29	32	37	45	436	349	502	404	377
	全チャネルに占める割合	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.5%	0.4%	0.6%	0.5%	0.5%

2. 弊害防止措置の遵守状況

(1) 当局による検査の状況

- 銀行等に対する検査においては、顧客説明態勢や、弊害防止措置等が適切に機能しているか等を検証。
- 保険会社に対する検査においては、銀行等への委託に係る態勢整備等が適切に行われているか等を検証。

(参考)銀行窓販に係る法令等遵守態勢等の確認検査をよりの確に行うため、全面解禁後の平成20年4月に金融検査マニュアル及び保険検査マニュアルを改訂している。

<検査実績>

[単位:社]

金融機関	18事務年度	19事務年度	20事務年度	21事務年度
預金取扱金融機関	290	287	285	290
保険会社	15	16	19	17

<銀行等に対する検査指摘事例>

- 保険募集に係る優越的地位の濫用防止に向けた取組みについて、営業店の募集実態に係るモニタリング態勢の検討を十分に行っていないことから、募集の適切性を検証できる状況となっていない事例。
- 契約時の説明に対する複数の苦情やクーリングオフの発生を把握しているにもかかわらず、営業店における契約時の説明内容の適切性を検証していなかった事例。
- 変額個人年金保険について、高齢者から多数の苦情が寄せられている実態を踏まえた適合性確認や顧客説明方法等の見直しの検討を行っていない事例。
- 非公開金融情報利用の事前同意書を徴求せず、口頭同意も得ていない不適切な募集を行っていた事例。

<保険会社に対する検査指摘事例>

- 銀行等代理店に対する内部監査をグループ会社と共同で実施しているが、監査対象先代理店の選定をグループ会社任せとしており、不祥事件の発生状況等を踏まえた選定を行っていない事例。
- 研修の実施を銀行代理店等が応諾した場合のみ実施することとしているため、必ず実施する必要がある適合性原則や元本保証等に関する苦情についての研修などを実施していなかった事例。

全面解禁前のモニタリング結果

<銀行等に対する検査指摘事例>

- 保険販売に係る優越的地位の濫用防止に向けた態勢整備不十分
- 預金誤認等の苦情が繰り返し発生
- 顧客の属性に応じた説明等不十分
- 顧客の事前同意を得ない非公開金融情報の利用

(2) 不祥事件届出の状況

- 保険会社が届け出た不祥事件のうち、銀行等の弊害防止措置に係る事件の類型は、「顧客の同意を得ない非公開情報の利用」と、「銀行取引等に影響がない旨の不説明」が多くを占める。

<弊害防止措置に係る不祥事件の類型別件数>

[単位:件]

区分	生命保険会社				損害保険会社			
	19年度	20年度	21年度	22年度	19年度	20年度	21年度	22年度
顧客の同意を得ない非公開情報の利用	13	0	1	1	8	1	9	6
銀行取引等に影響がない旨の不説明	15	9	6	4	3	2	5	0
優越的地位の不当利用	0	0	1	0	0	0	0	0
タイミング規制違反	0	1	0	0	0	0	0	0
募集制限先該当確認不備	0	0	2	1	0	0	0	0
窓販取扱外商品の契約	0	0	0	0	10	4	1	0
弊害防止措置関係の届出件数	19	10	8	6	17	7	14	6

(注) 1件の不祥事件が複数の類型に該当する場合があるため、類型別件数の合計と届出件数が一致しない場合がある。

<届出件数>

[単位:件]

区分	生命保険会社					損害保険会社				
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
①全体	2,884	3,352	2,755	2,461	2,540	5,452	3,960	3,899	2,621	2,068
②銀行窓販関係	75	78	72	57	84	40	48	16	27	12
①に占める割合	2.6%	2.3%	2.6%	2.3%	3.3%	0.7%	1.2%	0.4%	1.0%	0.6%
弊害防止措置関係	n/a	19	10	8	5	n/a	17	7	14	6
②に占める割合	-	24.4%	13.9%	14.0%	6.0%	-	35.4%	43.8%	51.9%	50.0%

- 不祥事件とは、次に該当する行為をいう。
(保険業法施行規則85条5項)
- ・詐欺、横領、背任等の犯罪行為
 - ・出資法違反の行為
 - ・保険募集に係る禁止行為、著しく不適当な行為等
 - ・現金紛失等(100万円以上)
 - ・海外当局に報告した上記行為等
 - ・その他上記に準ずるもの

〔監督上の対応について〕

- オフサイト・モニタリング(不祥事件届出、ヒアリング等)やオンサイトの立入検査を通じて、弊害防止措置等の遵守状況等に問題があると認められれば、銀行等の自主的な改善・対応策のフォローアップや、必要に応じて業務改善命令等の行政処分により是正が図られることとなるが、全面解禁以降、銀行窓販に関する行政処分は行われていない。
- なお、金融サービス利用者相談室に寄せられた相談については、監督部局において分析等を行い、監督事務に適切に反映を図ることとしている。また、相談のうち、申出人が保険会社・銀行等への情報提供について承諾している場合は、原則として監督部局において当該保険会社・銀行等へ情報提供を行うこととしている。

＜行政処分件数＞

[単位: 件]

区分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
保険業法を根拠法令とする行政処分	9	10	3	33	24	5	19	9	0
保険販売を主たる原因・契機とする事案に対する行政処分	7	8	3	7	2	2	0	5	0
銀行等に対する行政処分	1	2	0	1	0	0	0	0	0

(注1) 金融庁「行政処分事例集」を基に作成

(注2) 行政処分事例集の掲載単位を1件として集計

3. 相談窓口寄せられた苦情・相談の状況

(1) 銀行窓販に係る苦情・相談件数

- 銀行窓販に係る苦情・相談は、販売件数につれて増加傾向(多くの相談窓口において、平成20年度がピーク)。
- 保険関係の苦情・相談全体に占める割合は、3%台以下。

<各相談窓口の苦情・相談件数>

[単位:件]

相談窓口	区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
金融庁(金融サービス利用者相談室)	保険商品等の相談全体	17,349	15,441	12,746	11,730	10,539	
	銀行窓販関係	38	83	225	145	151	
	全体に占める割合	0.2%	0.5%	1.8%	1.2%	1.4%	
国民生活センター(PIO-NETを基に金融庁集計)	保険商品の相談全体	17,505	16,668	15,386	15,437	13,529	
	銀行窓販関係	249	259	585	449	473	
	全体に占める割合	1.4%	1.6%	3.8%	2.9%	3.5%	
保険会社各社	険生会命社保	苦情全体	332,135	662,504	932,402	1,105,968	1,062,600
		銀行窓販関係	7,019	13,653	24,502	20,412	23,081
		全体に占める割合	2.1%	2.1%	2.6%	1.8%	2.2%
	険損害社保	苦情全体	131,391	248,017	318,318	330,225	416,314
		銀行窓販関係	331	782	1,143	1,436	2,763
		全体に占める割合	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.7%
業界団体相談窓口	険生協命会保	苦情全体	8,908	10,148	7,616	7,076	6,623
		銀行窓販関係	35	58	211	159	197
		全体に占める割合	0.4%	0.6%	2.8%	2.2%	3.0%
	協害日会保本険損	苦情全体	14,727	17,446	20,526	21,292	(16,590)
		銀行窓販関係	n/a	15	7	6	(4)
		全体に占める割合	-	0.1%	0.0%	0.0%	(0.0%)
行全協国会銀	苦情全体	2,958	2,174	2,590	2,911	3,935	
	保険関係	40	34	95	103	146	
	全体に占める割合	1.4%	1.6%	3.7%	3.5%	3.7%	

(注)カッコ内の数値は上半期実績値を2倍した通期推計値。

[参考]苦情発生率(試算)

[単位:件]

区分	生命保険商品					
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
全チャネル	a. 苦情件数 ^(注)	332,135	662,504	932,402	1,105,968	1,062,600
	b. 新規契約件数	1,225万	1,254万	1,524万	1,686万	1,682万
	苦情発生率(試算①) [a/b]	2.7%	5.3%	6.1%	6.6%	6.3%
c. 保有契約件数	11,710万	11,818万	12,213万	12,704万	14,088万	
	苦情発生率(試算②) [a/c]	0.3%	0.6%	0.8%	0.9%	0.8%
銀行窓販	a. 苦情件数 ^(注)	7,019	13,653	24,502	20,412	23,081
	b. 新規契約件数	76万	62万	80万	103万	118万
	苦情発生率(試算①) [a/b]	0.9%	2.2%	3.1%	2.0%	2.0%
c. 保有契約件数	254万	355万	417万	501万	591万	
苦情発生率(試算②) [a/c]	0.3%	0.4%	0.6%	0.4%	0.4%	

(注)生命保険会社の苦情件数

[単位:件]

区分	損害保険商品					
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
全チャネル	a. 苦情件数 ^(注)	131,391	248,017	318,318	330,225	416,314
	b. 新規契約件数	14,581万	14,749万	14,500万	14,263万	14,213万
	苦情発生率(試算) [a/b]	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%
銀行窓販	a. 苦情件数 ^(注)	331	782	1,143	1,436	2,763
	b. 新規契約件数	31万	29万	32万	37万	45万
	苦情発生率(試算) [a/b]	0.1%	0.3%	0.4%	0.4%	0.6%

(注)損害保険会社の苦情件数

(2) 弊害防止措置等に係る苦情・相談の類型

- 弊害防止措置等に係る苦情・相談の内容では、預金との誤認に係るものが多くを占める。
- 商品別では、変額年金保険に係る苦情・相談が多くを占める。

< 弊害防止措置等に係る苦情・相談の類型別件数 >

[単位: 件]

区分	金融庁					国民生活センター					生命保険会社(各社合計)					損害保険会社(各社合計)				
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
銀行窓販関係	38	83	225	145	151	249	259	585	449	473	7,019	13,653	24,502	20,412	23,081	331	782	1,143	1,436	2,763
弊害防止措置等関係	16	29	61	25	55	39	33	60	78	60	236	419	735	781	910	5	13	27	48	143
顧客情報の不当利用	0	0	3	8	17	2	0	2	3	3	0	9	6	6	3	0	0	0	0	0
圧力販売	10	8	9	6	5	0	2	2	0	0	6	14	22	38	23	0	0	1	0	0
預金との誤認	5	21	49	11	29	33	28	55	75	56	142	276	463	497	429	0	1	3	0	0
その他の弊害防止措置等	1	0	0	0	2	4	3	1	0	1	88	120	244	240	455	5	12	23	48	143
(参考) 銀行窓販における変額年金保険に係る苦情・相談	12	37	164	87	69	104	119	357	189	178	5,619	10,749	17,481	10,983	9,441					

[各類型の内容]

類型	内容
顧客情報の不当利用	顧客の事前同意を得ることなく非公開金融情報を保険販売に利用するなど、顧客情報の不当利用に関する苦情・相談(保険業法施行規則212条2項等関係)
圧力販売	銀行等の取引上の優越的地位を不当に利用した保険販売など、圧力販売に関する苦情・相談(保険業法施行規則234条1項7号・9号・10号、212条3項等関係)
預金との誤認	預金との誤認防止に係る説明不十分等に関する苦情・相談(銀行法施行規則13条の5第1項3号関係)
その他の弊害防止措置等	銀行等と保険会社の間のアフターサービス分担が不十分であったこと等に関する苦情・相談など、上記以外の弊害防止措置等に関する苦情・相談

(注) 銀行窓販に係る苦情・相談のうち、弊害防止措置等に係るもの以外では、例えば契約時の説明不十分等の苦情・相談がある。

(3) 地域金融機関に係る相談件数

- 特例を採用している地域金融機関に係る相談が銀行窓販全体の相談に占める割合は、概ね20～30%。銀行窓販の全販売件数に占める特例地域金融機関のシェアと比較して、大きな差はない。

<特例地域金融機関に係る相談件数(試算)>

[単位:件]

区分	金融庁					国民生活センター				
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
銀行窓販全体	38	83	225	145	151	249	259	585	449	473
特例地域金融機関 ^(注) 関係	11	15	57	48	37	59	57	142	115	111
銀行窓販全体に占める割合	28.9%	18.1%	25.3%	33.1%	24.5%	23.7%	22.0%	24.3%	25.6%	23.5%
弊害防止措置等関係	6	2	7	12	19	10	5	11	16	21
顧客情報の不当利用	0	0	0	7	6	0	0	0	0	0
圧力販売	6	2	6	3	3	0	1	0	0	0
預金との誤認	0	0	1	2	7	8	3	11	16	20
その他の弊害防止措置等	0	0	0	0	3	2	1	0	0	1

(注) 地域金融機関の特例を採用している金融機関に係る相談であることが確認できたもの。

[参考]銀行窓販に占める特例地域金融機関の販売シェア(新規契約件数)

[単位:万件]

区分	生命保険会社					損害保険会社				
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
銀行窓販	76	62	80	103	118	31	29	32	37	45
特例地域金融機関	12	8	17	31	38	13	15	18	23	32
銀行窓販全体に占める割合	16.0%	12.6%	21.1%	29.6%	32.0%	43.7%	50.2%	57.0%	63.2%	71.8%

利用者の意識調査結果の概要

—調査会社に委託したインターネット調査—

1 対象サンプル

- ・調査対象設計： 全国 20 歳代から 70 歳代の男女で、取引のある銀行等（銀行、信用金庫又は信用組合）から保険の勧誘・提案を受けたことがある者
- ・調査時期： 平成 23 年 2 月
- ・有効回収サンプル数： 1,070（内訳右表）

	給与所得者	会社代表・個人事業主	合計
銀行等から勧誘・提案を受けて保険に加入した者	248	247	495
銀行等から勧誘・提案を受けて保険に加入しなかった者	285	290	575
合計	533	537	1,070

2 主な調査結果

(1) 非公開情報保護措置関係

- ・ 銀行等から保険の勧誘等を受けた経験のある者の大半が、同意を求められたという認識を持っていない。
- ・ 署名・押印による同意については、適切との回答が大半であるが、過剰との回答も一定程度存在。

・ 預金情報等を保険募集業務に利用することについて、同意を求められた経験の有無(n=1,070)	
ない	902 (84.3%)
ある	168 (15.7%)
・ 情報利用への同意の方法(n=168)	
口頭のみ	65 (38.7%)
口頭のほか、書面への署名・押印	86 (51.2%)
覚えていない、分からない	17 (10.1%)

・ 口頭のみで情報使用の同意を求められることについて (n=65)複数回答	
適切な手続である	32 (49.2%)
口頭だけでは不十分である	31 (47.7%)
口頭だけの同意でも過剰な手続である	1 (1.5%)
・ 書面への署名・押印により同意を求められることについて(n=86)複数回答	
適切な手続である	68 (79.1%)
署名や押印だけでは不十分である	5 (5.8%)
署名や押印を求めるのは過剰な手続である	13 (15.1%)

(2) 融資先募集規制関係

- ・ 借入先からの保険提案について、会社代表・個人事業主からは、「断ることは可能」との回答が多い一方、「断れないと思う」との回答も一定程度存在。
- ・ 勤務先の借入先からの保険提案については、「特段不安に感じることはない」、「加入を断れる」との回答が多い一方、「断れないと思う」との回答も一定程度存在。

・ 事業性融資の有無(会社代表・個人事業主 n=537)	
受けていない	386 (71.9%)
受けている	151 (28.1%)
・ 事業性融資を受けている銀行等からの保険の勧誘・提案について(会社代表・個人事業主 n=151)複数回答	
銀行等から保険を勧誘・提案されても断ることは可能だと思う	95 (62.9%)
自分が加入したくない保険であっても断れないと思う	37 (24.5%)
融資を受けている銀行等で加入できれば便利だと思う	34 (22.5%)

・ 勤務先に事業資金の融資をしている銀行等の認知(給与所得者 n=533)	
一つ以上知っている	323 (60.6%)
一つも知らない	210 (39.4%)
・ 勤務先に事業資金の融資をしている銀行等からの保険の勧誘・提案について(給与所得者 n=533)複数回答	
特段不安に感じることはない	224 (42.0%)
勤務先に融資している銀行等であっても加入を断れる	194 (36.4%)
家族も保険の加入を勧誘・提案されそうで不安	95 (17.8%)
加入すれば勤務先に対する融資条件が改善すると思う	79 (14.8%)
自分が加入したくない保険であっても断れないと思う	79 (14.8%)

(3) タイミング規制関係

- ・ ローン申込中に加入した理由としては、「ニーズに合う」との回答が多い一方、「ローンの審査が通らないと思った」との回答も一定程度存在。

・ ローンを申し込んだ経験の有無等(n=1,070)	
ない	530 (49.5%)
ある	540 (50.5%)
・ ローン申込中に保険の勧誘を受けた経験の有無(n=540)	
ない、覚えていない	240 (44.4%)
ある	300 (55.6%)
加入した	184 (61.3%)
加入を断った	147 (49.0%)

・ 勧誘・提案を受けた保険への加入の有無、理由	
加入した (n=184)複数回答	
ニーズに合う保険の提案・勧誘を受けた	115 (62.5%)
加入しないとローンの審査が通らないと思った	57 (31.0%)
加入を断った(n=147)複数回答	
勧誘・提案された保険が自分のニーズに合わなかった	93 (63.3%)
断ってもローンの条件等が悪くなると思わなかった	27 (18.4%)
勧誘・提案した銀行等との取引関係に不安はない	30 (20.4%)

(注)「加入した」経験と、「加入を断った」経験の両方がある者について二重計上されている。

(4) 担当者分離規制関係

- 銀行等の融資担当者からの保険提案について、「断ることは可能」との回答が多い一方、「断れないと思う」との回答も一定程度存在。

・ 銀行等の融資担当者からの保険の勧誘・提案について (会社代表・個人事業主 n=537)	
断ることは可能だと思う	427 (79.5%)
断れないと思う	61 (11.4%)
支店長や営業所長も同席なら断れないと思う	39 (7.3%)

(5) 保険商品の銀行等窓口販売に関する意見等

- 利便性を評価する意見と、顧客保護やサービスの面で疑問を呈する意見の双方が存在。

・ 保険商品の銀行等での窓口販売についての意見 (n=1,070) 複数回答	
すべての金融商品の管理が一括できて便利	249 (23.3%)
自分にふさわしい保険商品の提案が期待でき、便利	142 (13.3%)
窓口が多くなれば、保険商品の多様化につながる	285 (26.6%)
複数の保険会社の商品の比較検討が可能になり、便利	240 (22.4%)
取引関係を利用した圧力販売をするおそれがあり、不安	229 (21.4%)
預金情報を不当に利用されそうで不安	217 (20.3%)
銀行等の職員に保険の提案をするだけの専門知識はない	241 (22.6%)
顧客の資産の額だけに注目して提案をする傾向がある	210 (19.6%)
保険に加入してもアフターサービスは期待できない	353 (33.0%)